

行こう会報告

日時：平成二十八年十月十七日（月）午前十一時～午後二時
場所：岡山後楽園



岡山後楽園

今回は、「秋の後楽園を探索しよう」のタイトルのもと、廉池軒に九名が集まりました。お弁当「秋のお庭そだち」を頂きながら、ビール・日本酒・ワインそしてマッコリを飲み、実にマツタリした時間を過ごしました。



秋のお庭そだち



廉池軒



廉池軒からの光景

このようなスローな
時間が過ごせること
こそ究極の贅沢だと
思います。

目の前の池に鴨が二羽入り、鯉がゆったりと泳いでいます。大きな亀が甲羅干しするため芝生に上がっています。また、国内外の観光客がこちらの方を見ながら通り過ぎて行きます。中には半袖姿の人も、当日は夏日。アルコールもよく回ります。



マッタリタイム



集合写真

そして、「柳川川柳学校補習授業」が始まりました。お題は「鯉・恋・こい・コイ」 特待生榎本さんを除く八名が即興で川柳（中には俳句）を作りました。作品は後述の通りです。ご覧いただければと思います。
次回はもう忘年会です。詳細は後日メールでご連絡いたします。皆さまのご参加をお待ちしています。

後列右から

榎本

若槻

吉原

辻川

井上

伊藤

前列右から

松田

横田

立花

報告…吉原

柳川川柳学校補習授業く即興作品集

- ① 初紅葉コイはコイでも池の鯉
- ② 夏の恋燃えるがやがてアキがくる
- ③ 夏の恋燃えたら最後止められない
- ④ 老いらくの恋といえどもしてみたい
- ⑤ 池の端見つめているはメスの鯉
- ⑥ 老いらくの恋はしたいがあいてなし
- ⑦ 相手なく一人悲しむ孤悲（こい）もある
- ⑧ おいらくの恋も素敵だ紅葉だ
- ⑨ 落ちるとき恋はお池の鯉になる
- ⑩ コイ狙うサギの姿に我を見る
- ⑪ 下駄がない裸足で逃げてそれつきり（その心はく恋ははかない）
- ⑫ ブラインド閉めておくれとそつという（その心はく恋は盲目）
- ⑬ 追良瀬も老いらくもまた恋は恋
- ⑭ 鯉の餌ハムを投げたら飲み込んだ
- ⑮ 大谷を超えれば鯉の登竜門

（完）